

資料 4

令和3年度第2回  
高知県国保運営協議会

令和4年2月21日（月）

# 保険料水準の統一に向けた 検討状況について

令和4年2月21日  
高知県 健康政策部  
国民健康保険課

# 第2期高知県国民健康保険運営方針（概要）

## 第2期高知県国民健康保険運営方針の概要（R2.12.25策定）

### 第1章 高知県国民健康保険運営方針の基本的な事項

#### I 基本的な事項

- 目的：県と市町村、国保連合会が緊密に連携し、保険者としての事務を、三者が共通認識の下で実施するとともに、市町村が事業の広域化や効率化を推進することにより、国保制度が、将来にわたり安定的に運営されるよう県内における統一的運営方針を定める
- 根拠：国保法第82条の2
- 対象期間：令和3年4月1日から令和6年3月31日



#### 新 II 県における国民健康保険制度の運営に関する基本的な考え方

##### 基本認識

- 国民皆保険を支える最後の砦であり、国保財政を支えることが、国民皆保険を死守する上で最大の課題となる
- 県内国保の持続可能性を高めつつ、国保制度の構造的課題の解決を国に対して、働きかけていくことも必要となる
- 一人当たりの医療費の増加に歯止めがかからないため、被保険者が負担する保険料は上がって行かざるを得ない見通し
- 高額医療の発生等により、小規模な被保険者で保険料が急激に上昇するリスクや、保険料の市町村格差の拡大を抑制する必要性がある

##### 方向性

県内国保の  
持続可能性の確保  
被保険者間の  
公平性の確保

##### <運営方針に新たに盛り込む内容> NEW

- 「県内国保の持続可能性」と「被保険者間の公平性」を確保することを目的とし、今後、関係者で**将来的に県内国保の保険料水準を統一することを目指した議論**を行い、令和5年6月までに県内国保の保険料水準のあり方についての結論を得る  
※議論にあたっては、健康づくりや医療費適正化の取組を引き続き、全市町村で行うことや、市町村の取組へのインセンティブを損なわないように配慮する必要がある

### 第2章 国民健康保険の医療に要する費用及び財政の見通し

- 医療費の将来見通しは、医療の高度化や高齢化により、一人当たりの医療費の増加に歯止めがかからない状況となっている
- 2025（令和5年）までに団塊の世代を中心とした多くの被保険者が後期高齢に大量移行することに伴い、今後、県内国保の財政運営に大きな影響が予想される
- 国保が解消すべき赤字は「決算補填等目的の法定外繰入額」と「繰上充用金の増加額（決算補填等目的のものに限る）」の合算額と位置づけ、当該市町村ごとに赤字解消計画を定めた上で、目標年次を設定し、解消を目指す
- 累積赤字（過去の繰上充用金）は、引き続き各市町村の実情に応じ、可能な限り解消を目指す
- 県国保財政安定化基金を活用し、財源不足時に県・市町村に貸付・交付を行う

### 第3章 市町村における保険料の標準的な算定方法

- 第2期運営方針期間中は基本的にこれまでの算定方法を継続
- ・保険料の算定方式は3方式（所得割・被保険者均等割・世帯別平等割）
- ・均等割と平等割の割合は70：30
- ・応能応益割合は引き続き、所得係数β（全国平均の1人当たり所得に対する県平均の1人当たり所得の割合）を用いて算定
- Point 医療費指数反映係数αは第2期運営方針期間中はα=1（市町村の医療費水準を全て国保事業費納付金の算定に反映）とし、**今後引き下げの方向で検討**
- Point 納付金の仕組みの導入に伴う激変緩和措置は廃止とし、**経過措置（3年間）を設け、段階的な縮減を行う。**
- ※標準保険料率については、市町村ごとのあるべき保険料率とその理由をより把握しやすい形で提示



### 第4章 市町村における保険料の徴収の適正な実施

- 収納率が低く、収納不足が生じている市町村は、収納率の要因分析を実施
- 目標収納率の設定
- 口座振替や特別徴収の拡大、租税債権管理機構の活用
- 収納担当職員等向け研修会の実施

### 第5章 市町村における保険給付の適正な実施

- 療養費の支給の適正化
- レセプト点検の充実強化
- 第三者求償事務の取組強化



### 第6章 医療費の適正化の取組

- 第3期高知県医療費適正化計画に定める取組と整合性を図り、特定健診及び特定保健指導の実施率の向上、生活習慣病等の重症化予防の推進、**糖尿病性腎症透析予防強化プログラムの実施**、後発医薬品の使用促進、重複・頻回受診者への指導、医薬品の適正使用の推進等の取組を推進



### 第7章 市町村が行う事務の広域的及び効率的な運営の推進

- 共同実施事業、保険料（税）減免基準の統一、申請書等の様式の統一、研修会等の実施、市町村事務処理標準システムの導入支援、**マイナンバーカードの取得促進**

### 第8章 保健医療サービス・福祉サービス等に関する施策との連携

- KDBシステム等情報基盤の活用、地域包括ケアシステムの構築の推進、県が策定する保健・医療・介護等の各種計画との連携

### 第9章 施策の実施のために必要な関係市町村相互の連絡調整

- 県・市町村国保事業運営検討協議会における意見交換等



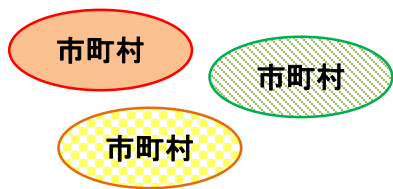
# 国保制度改革の概要(運営の在り方の見直し)

○平成30年度から、都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的役割を担い、制度を安定化

- ・給付費に必要な費用は、**全額**、都道府県が市町村に交付
- ・将来的な保険料負担の平準化を進めるため、都道府県は、市町村ごとの標準保険料率を提示（標準的な住民負担の見える化）
- ・都道府県は、**国保の運営方針を定め**、市町村の事務の効率化・広域化等を推進

○市町村は、地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課・徴収、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き担う

【平成29年度まで】  
市町村が個別に運営



- ・**国の財政支援の拡充**
- ・**都道府県が、国保の運営に中心的役割を果たす**

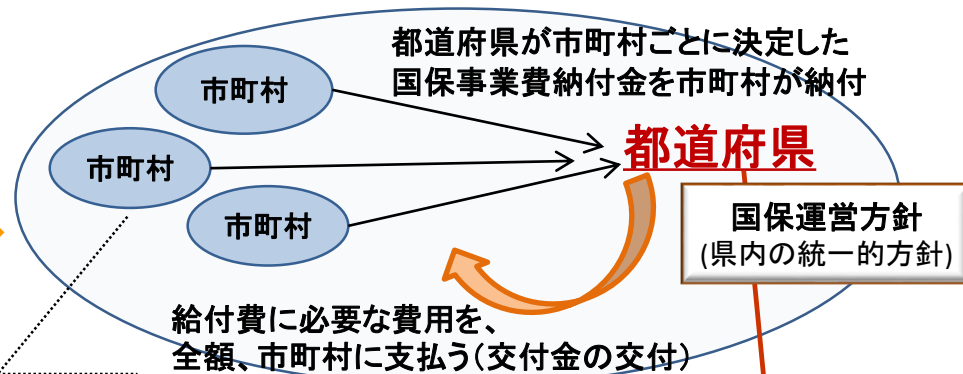
(構造的な課題)

- ・年齢が高く医療費水準が高い
- ・低所得者が多い
- ・小規模保険者が多い

- ・資格管理(被保険者証等の発行)
- ・保険料率の決定、賦課・徴収
- ・保険給付
- ・保健事業

※被保険者証は都道府県名のもの  
※保険料率は市町村ごとに決定  
※事務の標準化、効率化、広域化を進める

【平成30年度以降(改革後)】  
都道府県が財政運営責任を担うなど中心的役割



- ・財政運営責任(提供体制と双方に責任発揮)
- ・市町村ごとの納付金を決定  
市町村ごとの医療費水準、所得水準を考慮することが基本
- ・市町村ごとの標準保険料率等の設定
- ・市町村が行った保険給付の点検、事後調整
- ・市町村が担う事務の標準化、効率化、広域化を促進

# 国民健康保険制度改革の状況

## 国保が抱える構造的課題

- ① 年齢構成が高く、医療費水準が高い
- ② 所得水準が低い
- ③ 保険料負担が重い
- ④ 保険料（税）の収納率
- ⑤ 一般会計繰入・繰上充用
- ⑥ 財政運営が不安定になるリスクの高い小規模保険者の存在
- ⑦ 市町村間の格差

## 国保改革（平成30年度～）

- ① 財政運営の都道府県単位化・都道府県と市町村の役割分担
  - ・都道府県が財政運営の主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保等の国保運営に中心的な役割を担う
  - ・市町村は、資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課徴収、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き担う
  - ・都道府県が統一的な方針として国保運営方針を示し、市町村が担う事務の効率化、標準化、広域化を推進
  - ・都道府県に財政安定化基金を設置
- ② 財政支援の拡充
  - ・財政支援の拡充により、財政基盤を強化（毎年約3,400億円）
  - ・低所得者対策の強化、保険者努力支援制度等

## 今後の主な課題

平成30年度改革が現在概ね順調に実施されており、引き続き、財政運営の安定化を図りつつ、「財政運営の都道府県単位化」の趣旨の深化を図るため、令和3年度からの国保運営方針に基づき、都道府県と市町村の役割分担の下、以下の取組を進める。

### ○法定外繰入等の解消

赤字解消計画の策定・状況の見える化等を通じて、解消に向けた実行性のある取組を推進

### ○保険料水準の統一に向けた議論

将来的には都道府県での保険料水準の統一を目指すこととし、地域の実情に応じて議論を深めることが重要

### ○医療費適正化の更なる推進

保険者努力支援制度で予防・健康づくりが拡充されたことも踏まえ、都道府県内全体の医療費適正化に資する取組を推進

※上記の他、国会での附帯決議、骨太方針・改革工程表、地方団体の要望事項等について、地方団体と協議を進める。

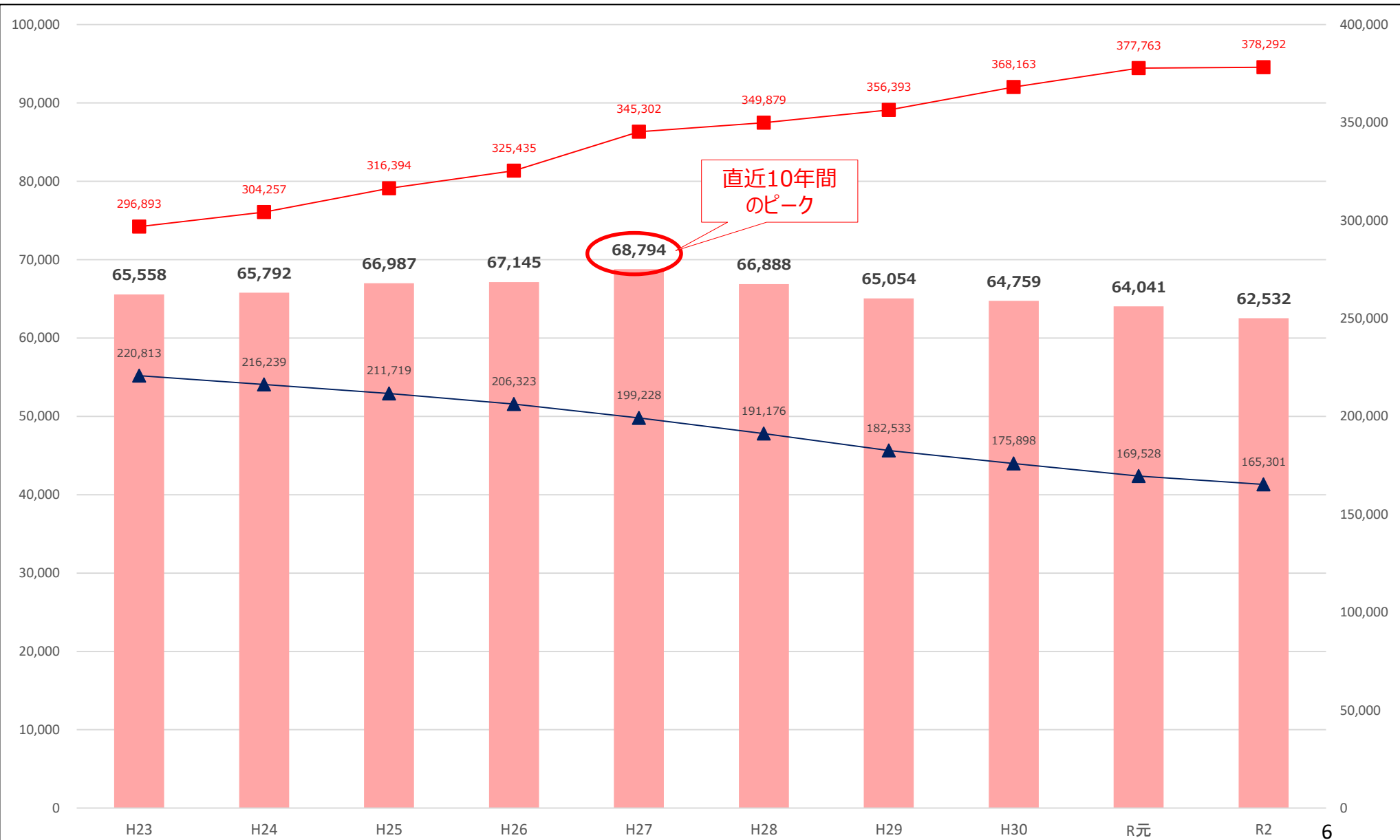
# 県内市町村国保の現状と課題

○国民健康保険制度は、被用者保険と比較すると、「年齢構成が高く、医療費水準が高い」、「所得水準が低い」、「保険料負担率が高い」など構造的な問題を抱えており、とりわけ高知県は人口減少・高齢化が進んでおり、全国と比較して保険料負担率が高いなど、大変厳しい状況にある。

|                                 | 市町村国保                   |  | 協会けんぽ                                 | 組合健保                                  | 共済組合                            | 後期高齢者医療 |
|---------------------------------|-------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|---------|
|                                 |                         | (高知県)  |                                       |                                       |                                 |         |
| <b>保険者数</b><br>(平成29年3月末)       | 1,716                   | (34)   | 1                                     | 1,399                                 | 85                              | 47      |
| <b>加入者数</b><br>(平成29年3月末)       | 3,013万人<br>(1,874万世帯)   | 18.5万人<br>(11.7万世帯)                              | 3,807万人<br>被保険者2,243万人<br>被扶養者1,564万人 | 2,946万人<br>被保険者1,628万人<br>被扶養者1,318万人 | 870万人<br>被保険者451万人<br>被扶養者418万人 | 1,678万人 |
| <b>加入者平均年齢</b><br>(平成28年度)      | 52.3歳                   | <b>54.1歳</b>                                     | 37.1歳                                 | 34.8歳                                 | 33.0歳                           | 82.4歳   |
| <b>65～74歳の割合</b><br>(平成28年度)    | 41.1%                   | <b>43.9%</b>                                     | 6.8%                                  | 3.2%                                  | 1.5%                            | 2.1%    |
| <b>加入者一人当たり医療費</b><br>(平成28年度)  | 35.3万円                  | <b>41.1万円</b>                                    | 17.4万円                                | 15.4万円                                | 15.6万円                          | 93.5万円  |
| <b>加入者一人当たり平均所得</b><br>(平成28年度) | 86万円<br>一世帯当たり<br>139万円 | <b>64.4万円</b><br><b>一世帯当たり</b><br><b>101.1万円</b> | 148万円<br>一世帯当たり<br>252万円              | 214万円<br>一世帯当たり<br>387万円              | 239万円<br>一世帯当たり<br>459万円        | 83万円    |
| <b>保険料負担率</b>                   | 10.3%                   | <b>12.1%</b>                                     | 7.5%                                  | 5.8%                                  | 6.0%                            | 8.3%    |

※出典：厚生労働省資料(県内市町村国保は追記)

# (参考) 県内国保の保険給付費総額と一人当たり保険給付費



(単位：百万円)

■ 保険給付費総額    ■ 被保険者一人当たりの保険給付費    ▲ 被保険者数 (年平均)

出典：国民健康保険事業年報（厚生労働省）

(単位：円/人)

# (参考) 各市町村ごとの直近10年間の被保険者一人当たりの保険給付費の推移

| 保険者番号     | 保険者名  | H23年度   |    | H24年度   |    | H25年度   |    | H26年度   |    | H27年度   |    | H28年度   |    | H29年度   |    | H30年度   |    | R元年度    |    | R2年度    |    |
|-----------|-------|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
|           |       | 順位      | 順位 | 順位      | 順位 | 順位      | 順位 | 順位      | 順位 | 順位      | 順位 | 順位      | 順位 | 順位      | 順位 | 順位      | 順位 | 順位      | 順位 | 順位      |    |
| 1         | 高知市   | 292,181 | 25 | 303,362 | 22 | 315,078 | 21 | 322,151 | 24 | 341,691 | 23 | 349,771 | 21 | 357,618 | 22 | 363,309 | 21 | 377,334 | 20 | 384,305 | 15 |
| 2         | 室戸市   | 359,845 | 4  | 365,427 | 4  | 385,356 | 4  | 387,929 | 6  | 418,182 | 6  | 416,179 | 4  | 422,820 | 2  | 446,390 | 4  | 438,682 | 6  | 427,205 | 6  |
| 3         | 安芸市   | 303,962 | 19 | 295,901 | 25 | 312,197 | 22 | 324,162 | 22 | 389,977 | 8  | 373,422 | 11 | 361,115 | 20 | 369,497 | 19 | 376,250 | 21 | 368,904 | 21 |
| 4         | 南国市   | 313,869 | 15 | 321,234 | 15 | 328,165 | 15 | 332,731 | 19 | 347,206 | 20 | 362,975 | 14 | 374,487 | 15 | 384,770 | 15 | 388,445 | 19 | 398,704 | 12 |
| 5         | 土佐市   | 311,618 | 16 | 318,741 | 16 | 327,944 | 16 | 340,849 | 16 | 355,630 | 15 | 356,814 | 19 | 389,856 | 6  | 411,740 | 9  | 411,616 | 10 | 401,913 | 11 |
| 6         | 須崎市   | 273,374 | 28 | 283,019 | 28 | 280,669 | 31 | 287,408 | 31 | 318,258 | 29 | 312,566 | 31 | 303,467 | 32 | 315,280 | 31 | 318,627 | 33 | 322,058 | 33 |
| 7         | 四万十市  | 252,193 | 32 | 254,888 | 34 | 275,382 | 32 | 265,633 | 33 | 290,853 | 33 | 294,544 | 33 | 301,053 | 33 | 307,152 | 32 | 310,230 | 34 | 301,311 | 34 |
| 8         | 土佐清水市 | 277,329 | 26 | 281,797 | 29 | 303,722 | 25 | 313,871 | 27 | 357,542 | 14 | 341,743 | 25 | 359,391 | 21 | 353,566 | 23 | 373,170 | 22 | 360,618 | 23 |
| 9         | 宿毛市   | 251,752 | 33 | 256,683 | 33 | 269,990 | 33 | 281,072 | 32 | 298,192 | 32 | 303,980 | 32 | 318,942 | 31 | 326,762 | 30 | 336,953 | 30 | 335,232 | 31 |
| 10        | 東洋町   | 355,462 | 5  | 383,142 | 2  | 357,548 | 8  | 403,523 | 4  | 424,880 | 5  | 365,868 | 13 | 412,142 | 5  | 474,014 | 3  | 474,322 | 3  | 488,624 | 2  |
| 11        | 奈半利町  | 334,029 | 10 | 347,899 | 6  | 331,059 | 14 | 351,988 | 12 | 379,366 | 12 | 360,610 | 15 | 413,624 | 4  | 407,908 | 10 | 410,092 | 11 | 367,680 | 22 |
| 12        | 田野町   | 316,341 | 13 | 310,285 | 19 | 309,013 | 24 | 261,844 | 34 | 286,752 | 34 | 343,638 | 24 | 384,989 | 9  | 367,729 | 20 | 423,818 | 7  | 421,184 | 7  |
| 13        | 安田町   | 304,666 | 18 | 338,419 | 9  | 350,865 | 11 | 408,867 | 3  | 410,377 | 7  | 383,843 | 9  | 382,098 | 11 | 432,171 | 5  | 404,646 | 14 | 380,568 | 17 |
| 14        | 北川村   | 457,332 | 1  | 359,580 | 5  | 427,470 | 1  | 391,036 | 5  | 442,549 | 4  | 411,598 | 5  | 414,362 | 3  | 487,345 | 2  | 455,851 | 4  | 437,310 | 5  |
| 15        | 馬路村   | 381,912 | 3  | 371,783 | 3  | 402,642 | 3  | 421,161 | 2  | 543,047 | 1  | 423,740 | 3  | 363,740 | 19 | 417,774 | 6  | 419,893 | 8  | 342,395 | 29 |
| 16        | 芸西村   | 346,058 | 8  | 343,436 | 8  | 364,135 | 7  | 376,536 | 7  | 371,122 | 13 | 399,198 | 7  | 377,825 | 13 | 390,724 | 13 | 363,073 | 24 | 351,255 | 27 |
| 17        | 香美市   | 319,688 | 12 | 308,978 | 20 | 323,945 | 18 | 338,595 | 17 | 352,097 | 16 | 352,706 | 20 | 366,394 | 18 | 384,965 | 14 | 396,860 | 18 | 391,949 | 13 |
| 22        | 香南市   | 299,858 | 21 | 301,966 | 24 | 324,313 | 17 | 336,051 | 18 | 340,118 | 24 | 348,911 | 22 | 342,571 | 27 | 373,521 | 18 | 358,261 | 25 | 356,139 | 25 |
| 26        | 大川村   | 249,589 | 34 | 308,607 | 21 | 244,812 | 34 | 292,363 | 30 | 469,600 | 2  | 374,651 | 10 | 378,227 | 12 | 223,859 | 34 | 327,963 | 32 | 381,043 | 16 |
| 27        | 土佐町   | 316,228 | 14 | 330,213 | 12 | 366,508 | 5  | 348,388 | 13 | 350,157 | 18 | 357,063 | 18 | 369,218 | 16 | 379,035 | 16 | 399,129 | 15 | 370,564 | 20 |
| 30        | 本山町   | 323,408 | 11 | 338,169 | 10 | 317,696 | 20 | 318,290 | 25 | 344,978 | 21 | 293,390 | 34 | 298,496 | 34 | 277,021 | 33 | 335,897 | 31 | 327,236 | 32 |
| 31        | 大豊町   | 382,056 | 2  | 400,301 | 1  | 422,976 | 2  | 487,700 | 1  | 462,091 | 3  | 486,532 | 1  | 496,099 | 1  | 533,618 | 1  | 538,619 | 1  | 571,396 | 1  |
| 32        | いの町   | 340,325 | 9  | 346,011 | 7  | 352,354 | 10 | 371,728 | 8  | 383,178 | 11 | 390,891 | 8  | 386,554 | 8  | 405,725 | 11 | 409,110 | 12 | 418,547 | 8  |
| 36        | 仁淀川町  | 348,614 | 7  | 337,096 | 11 | 337,792 | 12 | 360,003 | 10 | 383,897 | 10 | 409,572 | 6  | 389,355 | 7  | 390,963 | 12 | 398,420 | 17 | 462,981 | 3  |
| 37        | 佐川町   | 296,000 | 24 | 311,421 | 18 | 331,732 | 13 | 324,289 | 21 | 339,051 | 25 | 359,466 | 17 | 384,279 | 10 | 412,298 | 8  | 444,617 | 5  | 417,986 | 9  |
| 38        | 越知町   | 296,061 | 23 | 302,171 | 23 | 310,080 | 23 | 341,888 | 15 | 317,496 | 30 | 341,362 | 26 | 322,476 | 30 | 347,974 | 24 | 355,580 | 26 | 376,112 | 18 |
| 39        | 中土佐町  | 300,392 | 20 | 323,329 | 14 | 356,734 | 9  | 356,291 | 11 | 347,964 | 19 | 359,692 | 16 | 375,307 | 14 | 415,517 | 7  | 480,830 | 2  | 440,122 | 4  |
| 40        | 四万十町  | 258,630 | 31 | 278,631 | 31 | 281,586 | 30 | 301,150 | 29 | 335,728 | 27 | 328,546 | 28 | 335,630 | 29 | 347,626 | 25 | 351,115 | 27 | 342,491 | 28 |
| 41        | 日高村   | 350,803 | 6  | 327,218 | 13 | 300,130 | 27 | 326,394 | 20 | 350,482 | 17 | 328,236 | 29 | 355,745 | 23 | 361,845 | 22 | 398,804 | 16 | 387,237 | 14 |
| 42        | 津野町   | 296,872 | 22 | 315,964 | 17 | 318,577 | 19 | 311,815 | 28 | 338,058 | 26 | 312,593 | 30 | 368,820 | 17 | 330,409 | 29 | 364,785 | 23 | 341,196 | 30 |
| 46        | 梶原町   | 309,775 | 17 | 293,773 | 26 | 365,414 | 6  | 344,213 | 14 | 344,339 | 22 | 368,997 | 12 | 337,746 | 28 | 373,744 | 17 | 416,576 | 9  | 413,878 | 10 |
| 48        | 黒潮町   | 276,156 | 27 | 281,198 | 30 | 287,809 | 29 | 317,856 | 26 | 331,231 | 28 | 330,089 | 27 | 355,276 | 24 | 339,388 | 27 | 347,849 | 28 | 352,839 | 26 |
| 50        | 大月町   | 269,798 | 30 | 286,918 | 27 | 297,116 | 28 | 322,450 | 23 | 317,488 | 31 | 347,600 | 23 | 348,069 | 26 | 338,309 | 28 | 346,840 | 29 | 370,847 | 19 |
| 53        | 三原村   | 270,115 | 29 | 268,878 | 32 | 301,320 | 26 | 371,111 | 9  | 385,231 | 9  | 425,862 | 2  | 348,550 | 25 | 342,826 | 26 | 408,468 | 13 | 358,156 | 24 |
| 市町村計      |       | 296,893 |    | 304,257 |    | 316,394 |    | 325,435 |    | 345,302 |    | 349,879 |    | 357,872 |    | 368,163 |    | 377,763 |    | 379,292 |    |
| 各年度のピーク団体 |       | 0       |    | 0       |    | 0       |    | 0       |    | 4       |    | 2       |    | 3       |    | 5       |    | 11      |    | 9       |    |

# (参考) 保険料水準の統一に係るヒアリング結果概要

|                | 大阪府 (R3.7.15訪問)  | 奈良県 (R3.7.16訪問)  |
|----------------|--|--|
| 統一を検討する背景・きっかけ | <p><b>市町村からの要請により府と合意</b><br/>⇒平成22年度に全市町村が府に統一を要請、府も下記の条件下で取り組むことに合意。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の責任で累積赤字を解消</li> <li>・府の一般会計からの法定外繰入は行わない</li> <li>・保険料は上がるところも、下がるところもある</li> </ul> </div> | <p><b>県からの提案に市町村が合意</b><br/>⇒小規模市町村が多く、将来にわたって国保を安定運営するため、国の制度改正の動きが顕在化する前の平成24年度から検討をスタート。<br/>※新たな行政効率化モデルを指向する「奈良モデル」の取組の一部</p>                         |
| 検討の方法          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域化調整会議</li> <li>・事務レベルのWG</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村長会議</li> <li>・事務レベルのWG</li> </ul> <p>※奈良モデルを話し合う市町村長サミットで合意形成<br/>※主に市町村個別調整を中心に対応<br/>(全体の市町村向けの説明も実施している)</p> |
| 保健事業の取扱い       | <p><b>納付金算定に含め、統一基準で実施</b><br/>※当該費用は納付金で徴収し、普通交付金を交付。<br/>※統一基準を超えたり、市町村の政策的な事業は、納付金算定の対象外となる市町村向け公費等で対応。</p>   | <p><b>納付金算定に含めず、各市町村個別事業として実施</b><br/>※医療費総額の抑制は抑制的に目標設定をしている医療費適正化計画により対応。<br/>※医療費抑制効果が見込まれる事業については県全体で実施する仕組みとしているが、現在は該当なし。</p>                        |
| 市町村へのインセンティブ   | <p><b>府独自のインセンティブを付与</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村インセンティブ (県2号等で取組を評価・支援)</li> <li>・個人インセンティブ (アスマイルでポイント付与)</li> </ul>  | <p><b>なし</b><br/>※拡充された公費は県全体の納付金必要総額の抑制に使用。</p>   |
| 赤字解消           | <p><b>令和6年までに解消</b><br/>※累積赤字の解消のための一般会計からの繰入を期限付きで認めている。<br/>(全団体に赤字解消・激変緩和措置計画を策定)</p>   | <p><b>令和6年度までに解消</b><br/>※累積赤字の解消のための一般会計からの繰入を一定の条件下(経営努力等)で期限付きで認めている。<br/>(全団体に保険料引き上げ計画(保険料方針)を策定)</p>   |
| 統一までの経過措置期間    | <p><b>6年間 (H30~R5年)</b><br/>※統一基準の大部分をH30年度までに策定済</p>  | <p><b>6年間 (H30~R5年)</b><br/>※統一基準の大部分をH30年度までに策定済</p>  |



# 保険料水準の統一に向けたこれまでの取組

- 将来にわたって国民健康保険を安定的に運営するため、令和2年12月に策定した「第2期高知県国民健康保険運営方針」において、将来的に県内国保の保険料水準の統一を目指した議論を行うことを明記し、令和5年6月までに県内国保の保険料水準のあり方についての結論を得ることとしている。
- これまで、市町村代表との協議や、全市町村の訪問、意見照会等を行いながら、全市町村と丁寧な協議を行い、合意形成を図ってきた。

| 年度  | 高知県の取組状況 |  | 国の主な動向 |  |
|-----|----------|--|--------|--|
| H29 | 11月      | 高知県国民健康保険運営協議会（国保運営方針（案）を審議）<br>「高知県国民健康保険運営方針」を策定 → 公表（11月24日）  |        |  |
| H30 | 4月       | 国保の県単位化 スタート<br>○県内国保の保険給付に要する費用に係る国民健康保険給付費等交付金を賄うために、県が市町村から徴収する「国民健康保険事業費納付金」及び市町村ごとの保険料率の標準的な水準を表す数値である「標準保険料率」の仕組みが導入された。 | 4月     | 国民健康保険法一部改正施行<br>○H30年度から、都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営の中心的な役割を担い、制度を安定化                                |
|     |          |  | 6月     | 経済財政運営と改革の基本方針2018<br>○「国保財政の健全化に向け、法定外繰入の解消など先進事例を後押しするとともに横展開を図り、受益と負担の見える化を進める」旨等を明記                              |
| R元  |          |  | 6月     | 経済財政運営と改革の基本方針2019<br>○「国保の都道府県内保険料水準の統一や収納率の向上など受益と負担の見える化に取り組む都道府県の先進・優良事例について全国展開を図る」旨等を明記                        |
| R2  | 7月       | 第19回幹事会（市町村代表9団体の担当課長）<br>○県内国保の現状と課題、次期運営方針の見直しの方向性について協議   | 5月     | 都道府県国民健康保険運営方針策定要領等の改定<br>○ <b>将来の保険料水準の統一を目指すことを都道府県に要請</b>   |
|     | 8月       | 知事と町村長との意見交換会<br>○安田町長から知事に対し、保険料水準の統一についての要請あり  | 6月     | 経済財政運営と改革の基本方針2020<br>○「骨太方針2018、2019等の内容に沿って、社会保障制度の基盤強化を直実に進める」旨等を明記   |
|     | 9月       | 第6回高知県 県・市町村国民健康保険事業運営検討協議会※   |        |  |
|     | 12月      | 高知県国民健康保険運営協議会（第2期国保運営方針（案）を審議）<br>「第2期高知県国民健康保険運営方針」を策定 → 公表（12月25日）<br>○ <b>将来的に県内国保の保険料水準の統一を目指した議論を行うことを明記</b>             |        |  |
| R3  | 7月       | 市町村長訪問（～9月）<br>○ <b>将来の保険料水準の統一の必要性について全市町村異論なし</b>  | 6月     | 「全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険等の一部を改正する法律」公布<br>○都道府県国民健康保険運営方針について、「 <b>保険料の水準の平準化</b> 」や「 <b>財政の均衡</b> 」に関して記載事項に位置づける |
|     | 8月       | 第22回幹事会（統一に向けた議論の方向性、検討項目等）※書面開催   |        | 経済財政運営と改革の基本方針2021<br>○「骨太方針2020等の内容に沿って、社会保障制度の基盤強化を直実に進める」旨等を明記  |
|     | 10月      | 第23回幹事会（市町村訪問の結果、統一に向けた課題、納付金算定基準等）  |        |  |
|     | 11月      | 第24回幹事会（納付金算定基準、医療費適正化）  |        |  |
|     |          | 第25回幹事会（これまでの議論の整理、納付金算定基準）→ <b>統一保険料の試算を実施</b>  |        |  |
|     | 1月       | 第26回幹事会（統一保険料の試算結果等について協議）<br>○終了後、試算結果についての全市町村意見照会を実施  |        |  |
|     | 2月       | R3年度第2回高知県国民健康保険運営協議会  |        |  |
|     | 3月       | 第7回高知県 県・市町村国民健康保険事業運営検討協議会（予定）  |        |  |
|     |          |  |        |  |
| R4  | 8月       | <b>保険料水準の統一に向けた知事と市町村長の合意確認</b> （予定）   |        |  |
| R5  | 7月       | 「第3期高知県国民健康保険運営方針（案）」策定作業開始  |        |  |
|     | 12月      | 「第3期高知県国民健康保険運営方針」策定予定   |        |  |

市町村研修会:3回  
市町村意見照会:5回

※高知県 県・市町村国民健康保険事業運営検討協議会は市町村代表9団体（高知市9 香美市、土佐町、安芸市、田野町、須崎市、いの町、宿毛市、黒潮町）の首長、国保連合会で構成。幹事会はその9団体の国保担当課長で構成された会。

- 保険料水準の統一については、県内国保の現状と課題、統一の理念や必要性についての理解を関係者の間で深めていくことが重要となる。
- 統一に向けて検討すべき項目は多岐に渡ることが予想されるため、段階的な議論を行い、十分な検討期間を設けながら検討を行っていく必要がある。

## 検討項目① 理念の共有・合意形成

- 今までは市町村内の住民相互の支え合いであったが、今度は市町村相互でも支え合う仕組みへ。
  - (1) なぜ保険料水準の県内統一が必要なのか？についての理解を深める。
  - (2) どのレベルまでの統一を目指すか、「統一の定義」についての議論を行う。
  - (3) 最終的に、「令和●年までに、●●レベルでの水準の統一を目指す」ことについて、県と市町村等での合意形成を図る。

## 検討項目② 国保事業費納付金の算定方式の統一

- 県内のどこに住んでいても、「同じ所得、同じ世帯構成であれば同じ保険料」となることを目指す。
  - (1) 最終的に、全市町村で「標準保険料率」が同じとなるように納付金算定のルールを統一を目指した議論を行う。（医療費指数反映係数 $\alpha$ は引下の方向で検討）
  - (2) 納付金算定における保健事業や市町村向け公費、地単事業、標準収納率、滞納繰越分等の取扱いなどについて議論を行う。
  - (3) 納付金の算定方式の見直しに伴う激変緩和措置について議論を行う。

## 検討項目③ 保険料の算定、賦課方式等の統一

- 検討項目②の議論と歩調を合わせつつ、保険料の算定方式、賦課方式等の実質的な面での統一を目指す。
  - (1) 賦課方式の統一（応能応益割合、資産割の取扱等）
  - (2) 保険料及び一部負担金の減免基準の統一
  - (3) 葬祭費等の基準額の統一
  - (4) 事務の標準化

## 検討項目④ その他の検討項目

- (1) 各市町村毎のこれまでの経営努力や医療費水準の経過等の評価・分析
- (2) 市町村国保の財政調整基金の在り方
- (3) 県2号交付金等の在り方
- (4) 医療費適正化インセンティブの確保、医療提供体制 等

※ 少なくとも、検討項目①、②及び③の一部については、仮に統一保険料に移行となった場合に、各市町村に対し、保険料の将来推計をお示しする必要が生じるため、令和5年6月までに確実に結論を得る必要がある。

- 保険料水準の県内統一に対して、**全ての市町村長が「将来的な統一は必要」という意見**であった。  
 また、**将来、県内のどこに住んでいても、「同じ所得、同じ世帯構成であれば同じ保険料」を目指すことについても異論はなかった。**
- 一部の団体からは、「これまでの経営努力に対する評価」、「県全体で努力する仕組みづくり」、「市町村間の医療費格差の分析解消」、「医療費分析」等、統一を進める際の条件などについて**慎重な意見**があった。



|                 | 主なご意見・ご要望   |
|-----------------|---|
| 将来の保険料水準の統一について | <ul style="list-style-type: none"> <li>・統一は県が方針を打ち出して進めるのがよい</li> <li>・統一は市町村の意見を聴きながら、県主導で進めるべき</li> <li>・統一は少しでも早く実現してほしい。</li> <li>・県内統一保険料は後期高齢者医療制度で実現しているののでできない理由はない</li> <li>・県が前に出て、統一に向けた機運を作って欲しい</li> <li>・県が方向性を示して市町村がどう対応していくかが問題</li> <li>・統一は県が音頭を取らないと、市町村同士の話し合いでは無理</li> <li>・県が方向性や将来の保険料率を示して欲しい</li> </ul> |
| 保険料負担について       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住む場所によって保険料に差があることはあるべき姿ではない</li> <li>・できるだけ保険料が安くなる環境</li> <li>・統一によって保険料がどうなるのかを示して欲しい</li> <li>・保険料格差の分析</li> </ul>  |
| 医療費適正化について      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険料（医療費）が高い団体は分析と努力が必要</li> <li>・できるだけ保険料が安くなる環境</li> <li>・県全体の医療費適正化の話は、県主導で進めて欲しい</li> <li>・医療費分析を行い、効果的なところに集中していくことも必要</li> <li>・医療費適正化は県全体の大きな考え方や仕組みが必要</li> <li>・県全体で健康づくりの機運を作っていくことが必要</li> <li>・医療費を分析しながら、県全体で抑えていく取組が必要</li> <li>・東部と西部の医療費水準、保険料負担の格差の是正</li> </ul>          |

|               | 主なご意見・ご要望  |
|---------------|--|
| 市町村の経営努力について  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東部は全体的に医療費が高いので低い地域の理解を得る努力は必要</li> <li>・統一するのであれば、県全体が努力するような制度にしてほしい</li> <li>・統一しても、各市町村の努力が継続される仕組みに</li> <li>・これまでの市町村の努力が水泡に帰さないように</li> </ul>   |
| 財政運営の安定化について  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少が進めば、高額医療が発生すると厳しい</li> <li>・現在は医療費が落ち着いているが、最近まで高額医療費が発生し、不安定な状況だった</li> <li>・被保険者が少ないので、もしもの時にどうにもならない</li> <li>・被保険者の減少により、町単独で国保を運営することが難しくなる</li> <li>・将来高額医療が発生しても、保険料が変動しにくくなるのはメリット</li> <li>・このままでは村単独では対応できなくなる</li> </ul> |
| 被保険者等への説明について | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険料水準を統一することで生じる痛みをどう和らげるか</li> <li>・議会や被保険者の理解をどう得ていくか</li> <li>・被保険者に対する統一のメリットの説明</li> <li>・被保険者が統一された保険料負担とサービスが見合うと実感できるか</li> </ul>  |

# 将来の保険料水準の統一を目指す上での課題と対応

## 課題

## 対応

### 保険料負担の均てん化

**統一保険料率の導入には、市町村毎の医療費水準と保険料負担の結びつきを切り離すことがどうしても必要となる。**

“保険料負担が増加する団体については、被保険者の負担が急激に増加しないような慎重な対応が必要”  
“具体的な検討を行うためには、統一後の保険料水準を県から早く示して欲しい”  
“保険料水準の統一については県が方向性を示してほしい”

### 取組の方向性

**統一の目指すべき姿を早期に示した上で、経過措置期間の設定及び激変緩和措置を検討し、各市町村毎の医療費水準と保険料負担の切り離しを行う。**

### 具体的な取組（案）

- ・県の方針案を年内に市町村に示す。
- ・統一に向けた納付金の算定基準の検討（保険料算定方式、賦課方式等の調整を含む）
- ・激変緩和措置の検討
- ・**ルールに活用可能な財源の確保**
- ・統一した場合の保険料の試算

### 経営努力への評価・支援

**各市町村毎に、これまでの国保運営についての経営努力があり、取組に対する評価を求める声がある。**

“市町村がこれまで頑張ってきた努力が水泡に帰すようでは困る”  
“医療費が高い団体には努力してほしい”  
“健康づくりの取組については、各市町村毎で差がある”

これまでの市町村の経営努力を「見える化」した上で、取組が十分でない市町村に対し、経過措置期間中を含め、継続的な努力を求める。

- ・各市町村の保険料水準の分析
- ・統一を前提とした段階的な赤字解消
- ・全市町村との基礎データの共有  
指標（案）：予算決算、保険料率、収納率、特定検診の受診率等、ジェネリック、保健事業等
- ・統一後も、市町村が独自の努力を継続できる仕組みの検討

### 医療費適正化インセンティブ

**市町村毎の医療費水準と保険料の関係を切り離すことで、健康づくりなど、市町村の医療費適正化の取組が後退する恐れがある。**

“東部と西部では医療費に格差があるため、医療費が高い団体は下げる努力が必要”  
“統一後も頑張っている市町村が評価される仕組みであるべき”



**県全体で保健事業の底上げや医療費適正化に取り組む市町村や個人を支援する仕組みを検討する。**

※中長期的な視点を持って取り組むべき課題であり、一定の調整期間が必要となる。

**医療費の高い団体はなぜ高いのかの分析を行い、努力が必要。**

“医療費を分析し、効果的に取り組みを行っていく必要がある”  
“入院が高いことは分かるが、なぜ高いのか分からない”  
“現行の医療費分析の手法には限界があるので、県で医療費分析を行ってほしい”

国保連合会との連携等により、市町村ニーズに対応した新たな医療費分析の手法を検討する。



- ・現行の第2期データヘルス計画についての現状と課題等の分析
- ・国保連合会と連携した研修会の実施
- ・作業部会等での新たな手法の検討及び第3期データヘルス計画への導入
- ・保健事業について、県内統一基準の導入等の検討（作業部会で検討）
- ・保険者努力支援制度交付金の確保
- ・個人インセンティブの強化

### 事務の統一

**スケールメリットを活かした事務の効率化**

“保険料水準の統一によって、市町村の事務は減るのか”



市町村の事務の状況を踏まえつつ、統一を進める範囲や方法を検討する。

※システム改修や条例・規則の改正が必要な項目も多いため、計画的、段階的な調整が必要

- ・市町村に対する現況調査の実施
- ・国保連合会と連携した保険者支援の在り方の検討

### 医療提供体制

**各市町村毎で医療提供体制に格差がある。**

“同じ保険料にするのであれば、医療提供体制も同じにするべき。”  
“有人離島や無医地区など医療機会に恵まれない住民に対し、公平性を確保する必要があり”  
（県内の無医地区はH26年10月末現在で18市町村38地区（全国第3位））

高知県保健医療計画や地域医療構想を推進する中で、県民がそれぞれの地域において安心して保健・医療を受けられる体制の構築を目指す。

- ・病床機能の分化及び連携の推進
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅医療の充実
- ・医療従事者の確保・育成
- ・無医地区巡回診療等の継続

# 統一保険料の試算（R3試算基準）

- 市町村長との意見交換において、将来の統一保険料の導入について今後、議会や被保険者に具体的な説明を行っていくためには、統一保険料の試算の提示が必要とのご要望をいただいております、試算を行うことについて全市町村異論なし。
- 幹事会において、試算のための納付金算定基準（案）の検討を行った上で試算を実施。  
なお、基準の策定にあたっては、先進府県（大阪府、奈良県）の取組も参考とした。

## 試算のポイント

- 国保の受益が全国共通であることを前提に、被保険者間の公平性の確保の観点から、基準（案）の作成にあたっては、**「県内のどの市町村に住んでいても、同じ所得、同じ世帯構成であれば同じ保険料」**となることを目指した。

### 基準（案）のポイント

ポイント①：各市町村毎の医療費を保険料負担に反映させない

ポイント②：賦課方式、税率、税額を全市町村統一

ポイント③：各市町村が独自に行っている保険料負担の軽減措置（保険料の補填）を解消 = **赤字**等の補填の解消

※今後、保険料による負担が必要となる給付や減免基準の統一を検討

- 統一後の保険料と現在の保険料の差については、主に下記の2つの要因に分けられる。

要因①：現在、各市町村が行っている、必要となる保険料に対して何らかの財源で補填を行っている部分を解消することによるもの

要因②：**納付金算定方式の変更によるもの（＝統一保険料の導入によるもの）**

※ 現行の激変緩和措置に加え、公費の一部を算定除外としているため、統一保険料が高く算出されている可能性がある。

※ 令和3年度時点での条件での試算であり、今後の県全体の保険給付費や被保険者数の動向によって、統一保険料の水準は変化するため、数値はあくまで参考情報となる。

特に、被保険者一人当たりの医療費の増加に注意が必要。

- 人口減少高齢化が全国より進み、一人当たりの医療費が全国と比べて高く、小規模な保険者が多い高知県において、将来の県内国保の持続可能性を確保していくためには、将来の保険料水準の統一が必要となる。

- 今後、想定される課題としては、今後の、被保険者一人当たりの医療費は増加する見通しであるため、将来の被保険者負担の抑制のために、

# R3 試算基準による試算結果

令和3年度算定ベース

R3試算

| No. | 市町村名  | 一人当たり保険料額 |        |        |         | 統一保険料率 |        |        |       |        |       |       |        |       |
|-----|-------|-----------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|
|     |       | 医療        | 後期     | 介護     | 合計      | 医療     |        |        | 後期    |        |       | 介護    |        |       |
|     |       |           |        |        |         | 所得割    | 均等割    | 平等割    | 所得割   | 均等割    | 平等割   | 所得割   | 均等割    | 平等割   |
| 1   | 高知市   | 85,454    | 26,059 | 30,807 | 121,516 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 2   | 室戸市   | 83,830    | 25,565 | 32,120 | 119,423 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 3   | 安芸市   | 93,677    | 28,617 | 36,032 | 134,610 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 4   | 南国市   | 85,218    | 26,012 | 31,151 | 120,517 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 5   | 土佐市   | 84,865    | 25,849 | 32,714 | 121,024 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 6   | 須崎市   | 86,201    | 26,238 | 35,435 | 123,529 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 7   | 土佐清水市 | 82,678    | 25,189 | 30,631 | 117,396 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 8   | 宿毛市   | 82,110    | 25,030 | 30,718 | 116,810 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 9   | 四万十市  | 81,089    | 24,752 | 29,861 | 115,047 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 10  | 香南市   | 86,383    | 26,361 | 32,511 | 122,972 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 11  | 香美市   | 83,489    | 25,487 | 31,388 | 118,120 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 12  | 東洋町   | 85,488    | 26,009 | 32,260 | 121,559 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 13  | 奈半利町  | 86,213    | 26,300 | 31,573 | 122,501 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 14  | 田野町   | 83,632    | 25,485 | 32,625 | 120,492 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 15  | 安田町   | 84,119    | 25,722 | 32,379 | 121,049 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 16  | 北川村   | 82,377    | 25,211 | 28,061 | 116,325 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 17  | 馬路村   | 99,785    | 30,559 | 35,028 | 140,384 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 18  | 芸西村   | 100,919   | 30,837 | 38,493 | 145,556 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 19  | 大川村   | 81,717    | 25,006 | 27,812 | 114,670 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 20  | 土佐町   | 83,942    | 25,659 | 32,639 | 119,904 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 21  | 本山町   | 84,084    | 25,726 | 29,786 | 118,001 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 22  | 大豊町   | 74,612    | 22,790 | 28,232 | 104,746 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 23  | 佐川町   | 83,560    | 25,515 | 32,419 | 118,416 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 24  | 越知町   | 84,020    | 25,599 | 32,161 | 119,561 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 25  | 中土佐町  | 84,913    | 25,903 | 31,625 | 120,362 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 26  | 日高村   | 81,717    | 24,973 | 30,701 | 115,075 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 27  | 構原町   | 82,477    | 25,216 | 31,277 | 115,612 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 28  | 大月町   | 83,024    | 25,291 | 31,094 | 118,692 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 29  | 三原村   | 82,198    | 25,128 | 31,302 | 119,290 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 30  | いの町   | 83,870    | 25,633 | 30,340 | 117,951 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 31  | 津野町   | 80,489    | 24,590 | 31,750 | 114,029 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 32  | 仁淀川町  | 76,390    | 23,334 | 29,110 | 106,868 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 33  | 四万十町  | 83,031    | 25,306 | 32,052 | 117,939 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
| 34  | 黒潮町   | 80,699    | 24,633 | 30,623 | 114,692 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |
|     | 県計    | 84,845    | 25,881 | 31,520 | 120,613 | 8.54%  | 35,122 | 24,109 | 2.65% | 10,640 | 7,304 | 2.55% | 12,904 | 6,517 |

※一人当たり保険料額＝標準的な収納率による割り戻しを行う前の保険料総額(e)÷被保険者数

※一人当たり保険料額は低所得者に対する法定の軽減措置を行う前の額

※標準保険料率は収納率による割り戻しを行った賦課総額を基に算出

**全市町村が同率・同額**

# 保険料負担の変化

| No. | 市町村名  | ①                | ②                | ③                      | ②-①=④   | ③-②=⑤                 | ④+⑤     |              |
|-----|-------|------------------|------------------|------------------------|---------|-----------------------|---------|--------------|
|     |       | R2被保険者数<br>(年平均) | R2保険料実績<br>(軽減含) | R3市町村標準保険料<br>(激変緩和なし) | R3統一保険料 | 実際の保険料と現行の市町村標準保険料との差 |         | 統一保険料の導入による差 |
| 1   | 高知市   | 64,497           | 110,810          | 119,664                | 121,516 | 8,854                 | 1,852   | 10,706       |
| 2   | 室戸市   | 4,145            | 113,098          | 123,286                | 119,423 | 10,188                | -3,863  | 6,325        |
| 3   | 安芸市   | 5,570            | 126,506          | 144,713                | 134,610 | 18,207                | -10,103 | 8,104        |
| 4   | 南国市   | 10,348           | 117,373          | 119,950                | 120,517 | 2,577                 | 567     | 3,144        |
| 5   | 土佐市   | 7,402            | 121,240          | 126,521                | 121,024 | 5,281                 | -5,497  | -216         |
| 6   | 須崎市   | 6,137            | 117,182          | 112,488                | 123,529 | -4,694                | 11,041  | 6,347        |
| 7   | 土佐清水市 | 4,250            | 109,328          | 101,478                | 117,396 | -7,850                | 15,918  | 8,068        |
| 8   | 宿毛市   | 5,578            | 95,749           | 91,225                 | 116,810 | -4,524                | 25,585  | 21,061       |
| 9   | 四万十市  | 8,470            | 88,062           | 93,786                 | 115,047 | 5,724                 | 21,261  | 26,985       |
| 10  | 香南市   | 8,212            | 115,520          | 120,070                | 122,972 | 4,550                 | 2,902   | 7,452        |
| 11  | 香美市   | 6,560            | 108,816          | 115,235                | 118,120 | 6,419                 | 2,885   | 9,304        |
| 12  | 東洋町   | 731              | 90,310           | 133,953                | 121,559 | 43,643                | -12,394 | 31,249       |
| 13  | 奈半利町  | 925              | 101,034          | 143,452                | 122,501 | 42,418                | -20,951 | 21,467       |
| 14  | 田野町   | 769              | 96,006           | 129,979                | 120,492 | 33,973                | -9,487  | 24,486       |
| 15  | 安田町   | 778              | 106,551          | 132,546                | 121,049 | 25,995                | -11,497 | 14,498       |
| 16  | 北川村   | 337              | 100,251          | 139,444                | 116,325 | 39,193                | -23,119 | 16,074       |
| 17  | 馬路村   | 160              | 117,863          | 149,916                | 140,384 | 32,053                | -9,532  | 22,521       |
| 18  | 芸西村   | 1,382            | 139,953          | 173,215                | 145,556 | 33,262                | -27,659 | 5,603        |
| 19  | 大川村   | 82               | 49,280           | 101,543                | 114,670 | 52,263                | 13,127  | 65,390       |
| 20  | 土佐町   | 906              | 91,345           | 123,718                | 119,904 | 32,373                | -3,814  | 28,559       |
| 21  | 本山町   | 787              | 101,765          | 107,660                | 118,001 | 5,895                 | 10,341  | 16,236       |
| 22  | 大豊町   | 914              | 103,865          | 118,006                | 104,746 | 14,141                | -13,260 | 881          |
| 23  | 佐川町   | 3,072            | 109,566          | 120,963                | 118,416 | 11,397                | -2,547  | 8,850        |
| 24  | 越知町   | 1,390            | 108,227          | 112,389                | 119,561 | 4,162                 | 7,172   | 11,334       |
| 25  | 中土佐町  | 1,787            | 99,322           | 128,640                | 120,362 | 29,318                | -8,278  | 21,040       |
| 26  | 日高村   | 1,238            | 102,582          | 102,831                | 115,075 | 249                   | 12,244  | 12,493       |
| 27  | 梶原町   | 855              | 98,108           | 117,710                | 115,612 | 19,602                | -2,098  | 17,504       |
| 28  | 大月町   | 1,593            | 109,823          | 103,268                | 118,692 | -6,555                | 15,424  | 8,869        |
| 29  | 三原村   | 419              | 87,631           | 119,570                | 119,290 | 31,939                | -280    | 31,659       |
| 30  | いの町   | 5,355            | 103,151          | 117,667                | 117,951 | 14,516                | 284     | 14,800       |
| 31  | 津野町   | 1,326            | 108,389          | 101,897                | 114,029 | -6,492                | 12,132  | 5,640        |
| 32  | 仁淀川町  | 1,259            | 80,470           | 91,460                 | 106,868 | 10,990                | 15,408  | 26,398       |
| 33  | 四万十町  | 4,808            | 97,804           | 106,271                | 117,939 | 8,467                 | 11,668  | 20,135       |
| 34  | 黒潮町   | 3,259            | 104,813          | 104,609                | 114,692 | -204                  | 10,083  | 9,879        |
|     | 県全体   | 165,301          | 109,370          | 117,222                | 120,613 | 7,852                 | 3,391   | 11,243       |

※保険料実績は直近の令和2年度の決算の数値（現年+滞納繰越）を使用

※現行の激変緩和措置に加え、公費の一部を算定除外としているため、統一保険料が高く算出されている可能性がある。

※令和3年度ベースの算出であり、将来に向けての一人当たりの保険給付費、後期高齢者支援金、介護納付金等が徐々に増加していくこと等が予想されるため、実際の統一時の保険料率は増加していく可能性がある。

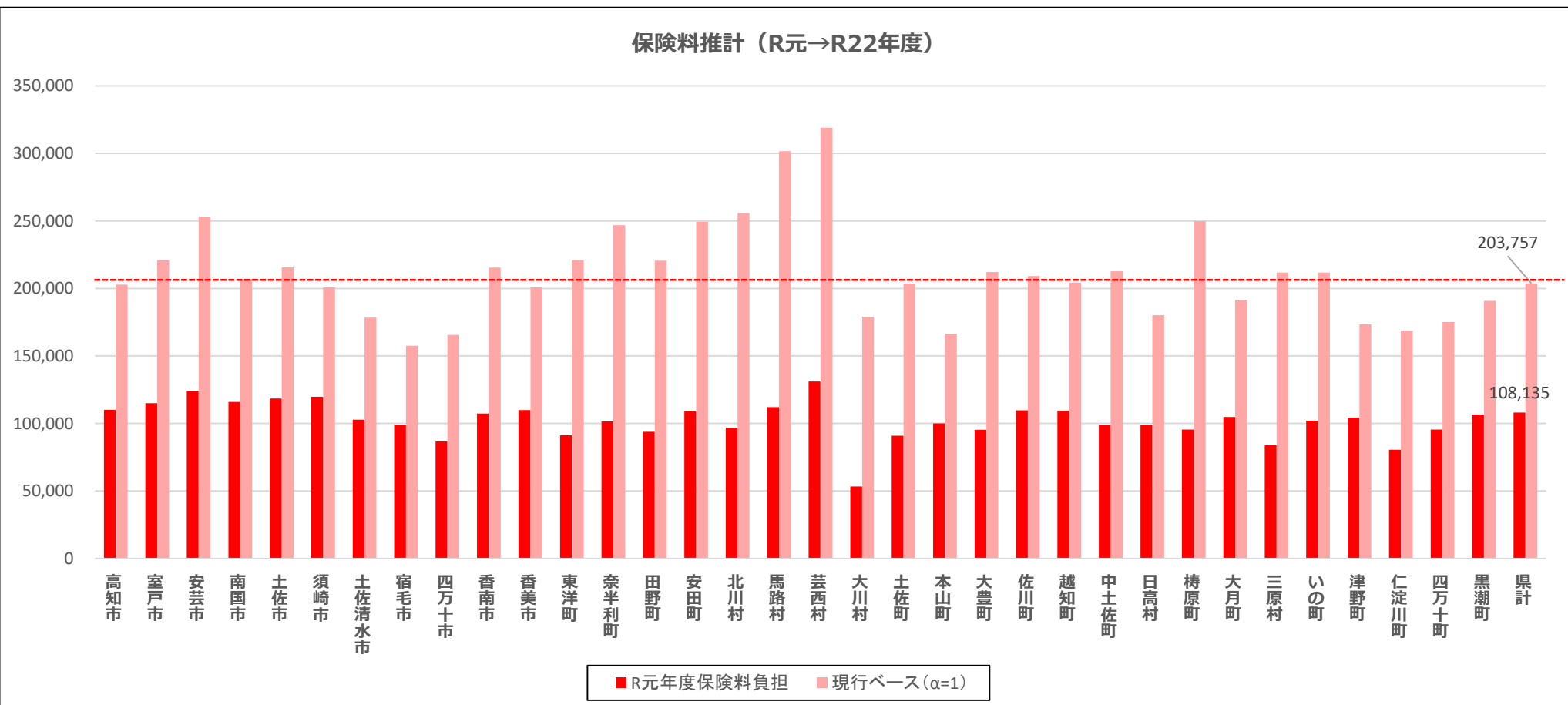
# 各市町村における一人当たりの保険料水準の推計（R元→R22）

## ①R元年度における被保険者一人当たりの保険料負担（見込）

※被保険者一人当たりの国保料負担額は現年調定額（一般+退職）ベース+基盤安定（保険料軽減分）/年平均）で算定

## ②現行推移モデル（R22年度）

⇒現在の仕組み（医療費指数反映係数 $\alpha = 1$ ）のまま推移した場合の推計

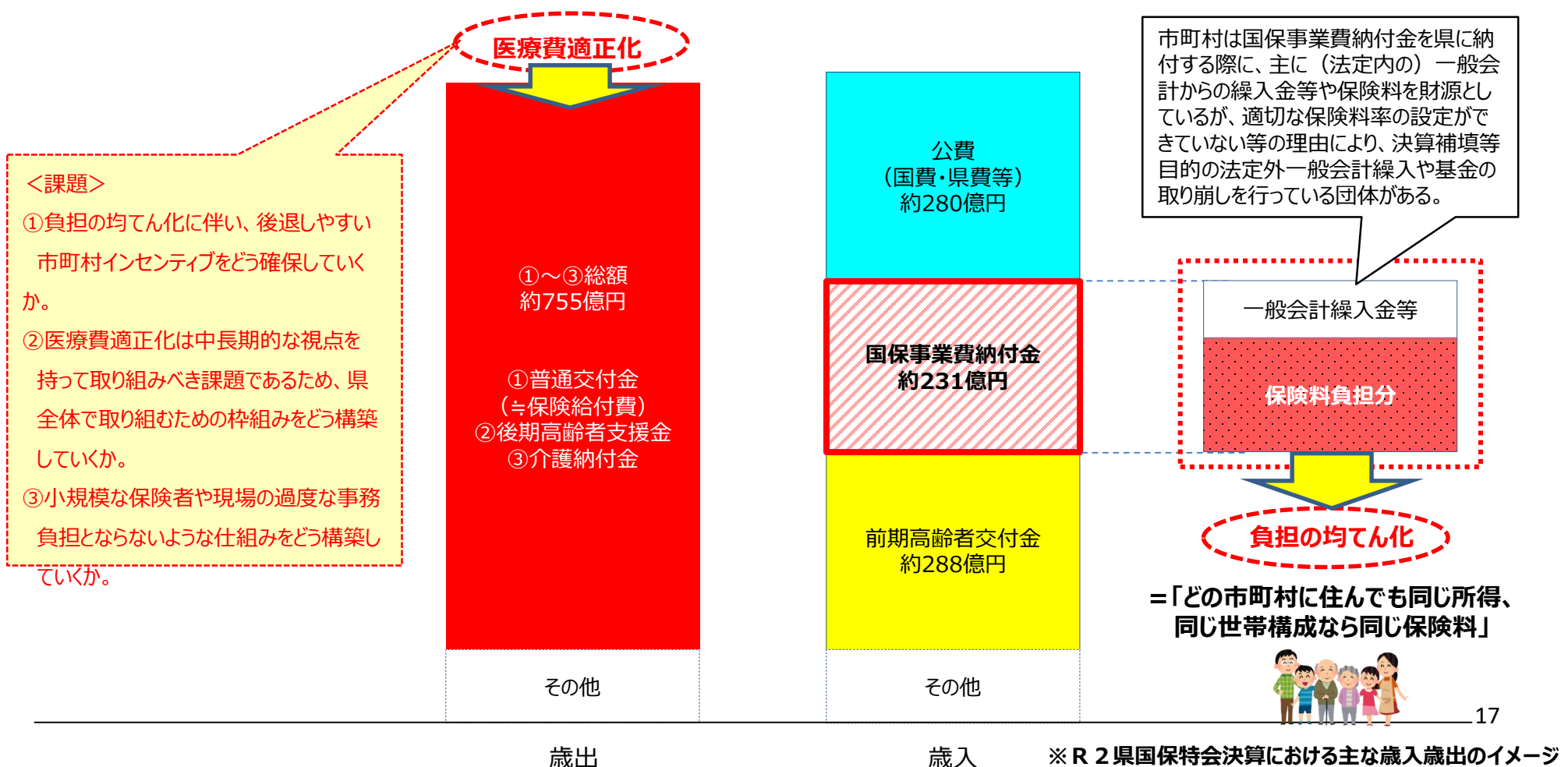


**現行の仕組みのままでは20年後の保険料水準は20万円を超える見込み。被保険者一人当たりの保険料負担は現在の約1.9倍程度の増となるため、長期的には全市町村で保険料負担の大幅な引き上げが必要となる。**



# 「保険料負担の均てん化」と「医療費適正化」の関係について

- **県内国保の持続可能性**を高めるためには、保険料の急増リスクや現在の市町村間の保険料格差の大きな要因にもなっている**医療費水準と保険料の切り離し**を行いつつ、同時に、統一後は、県全体の医療費が統一保険料の水準を決定することになるため、県全体の医療費が増加しないように、**健康づくり等による医療費適正化の取組**を県全体で進める必要がある。  
 ( ⇒ マクロとミクロの両面で、県内国保の持続可能性の確保を追求していく)



# 統一保険料の導入に向けたイメージ（案）

- 統一保険料の試算結果から見る、各市町村ごとの被保険者一人当たりの保険料負担への影響額については、「①現在何らかの財源で補填を行っている部分の解消分」と「②納付金算定方式の変更分」に分けて考えることができる。また、将来に向けては「③医療費の上昇によって見込まれる増加分」を考える必要がある。

※統一の目標年度をこれまでの県の説明から、令和12年度とした仮定した場合のたたき台

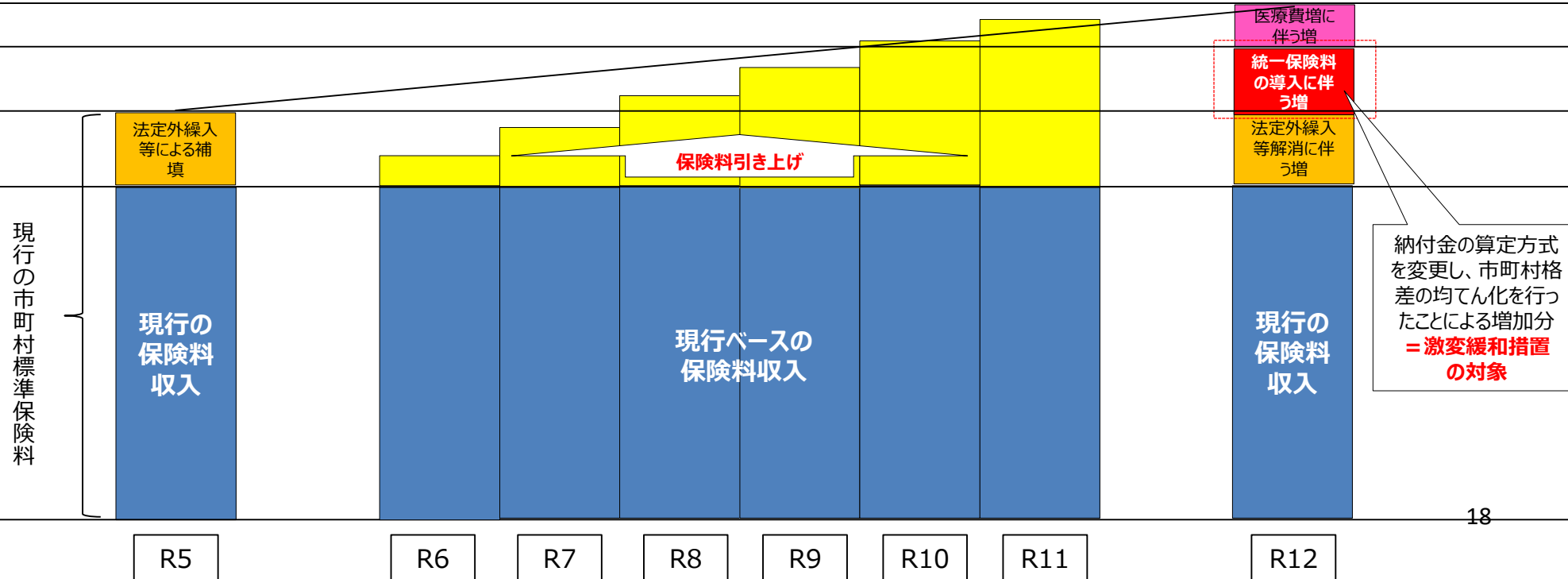
- 統一保険料の導入（＝上記②）に伴って保険料負担が増加する市町村に対し、6年間を基本として、激変緩和措置を講じる。

措置の対象外 ①赤字補填や保険料軽減が目的の「法定外一般会計繰入金」、赤字補填に充当する「繰上充用金（単年度分）」、「財政調整基金の取崩し」、「前年度繰越金」等の解消による増加分（⇒市町村間の公平性の確保のため）  
 ③医療費の上昇によって見込まれる増加分（⇒制度改正に伴う増加分のみを対象とするため）

措置の期間 6年間（R6～R11年度）

措置の方法 期間中、統一保険料の導入に伴う増加分について、一定の基準を設定し算定した額を、県からの納付金額を減額すること等が考えられる。

※ 市町村の独自財源（資産を想定）による激変緩和措置は、市町村ごとの判断により実施（ただし、計画を策定し、かつ対象期間内を目処とする）



# R3統一保険料の試算結果に係る市町村の主な意見

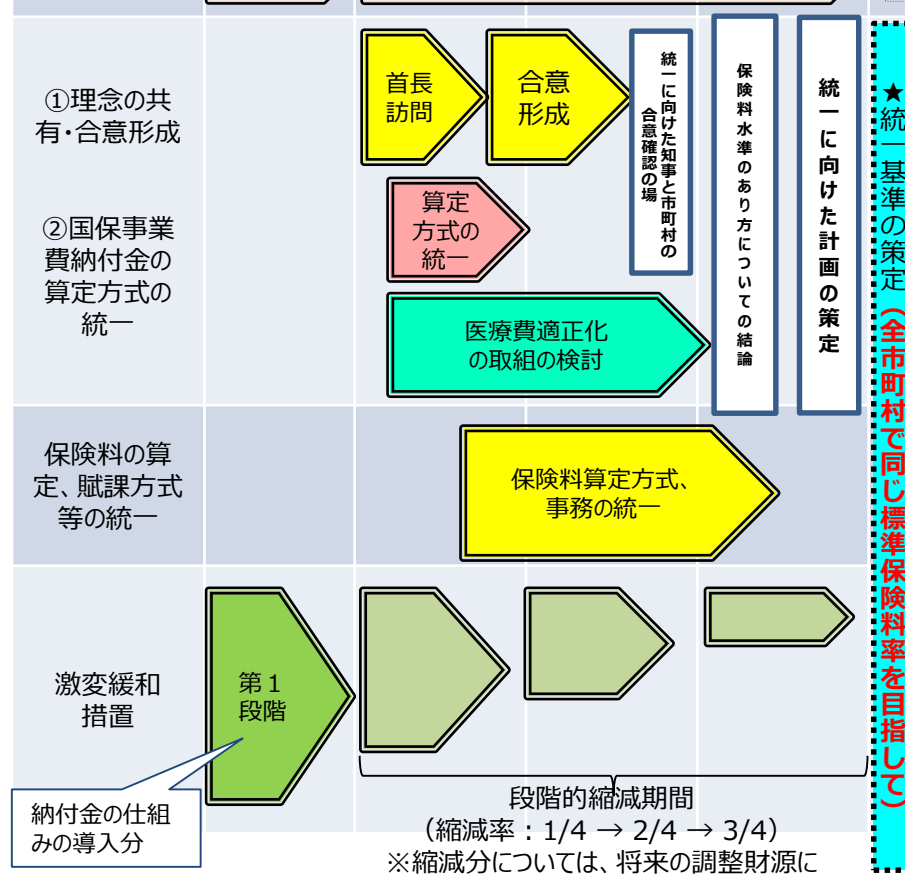
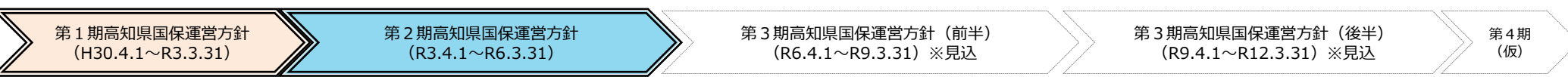
○ 昨年12月にお示したR3統一保険料試算結果を踏まえた市町村意見照会について、将来の保険料水準の統一を行うことについての反対意見は見られず、引き続き統一に向けた課題についての議論を行う必要との意見が多く見られた。

また、今後議論すべき課題等について、主に下記の項目に係る意見が多く見られた。



|                                      | 主なご意見・ご要望  | 今後の検討課題   |
|--------------------------------------|--|---|
| ①統一保険料の試算結果                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>統一保険料の水準にするための住民等の納得を得られることが課題になる。</li> <li>特に低所得階層に負担が大きかからないような配慮が必要。</li> <li>県統一による保険料の見込みを今回示して頂いたことで、今後完全統一までの間にそれぞれの市町村が目指すべき保険料率の目安ともなり、また被保険者をはじめ、運営協議会や議会等でも説明ができることで、今後の議論もしやすくなると思う。</li> <li>市町村間でも収納率に差が生じていると思うので目標収納率を設定しても達成しなかった、できなかった市町村も出てくると思う。収納率向上のインセンティブ等、検討が必要である。</li> </ul>  |   |
| ②保険料水準の統一に向けた理念の共有・合意形成              | <ul style="list-style-type: none"> <li>被保険者間の公平性を確保するためにも「各市町村の収納率」や保健事業をはじめとする「医療費適正化」、被保険者への「医療提供体制」についても均てん化が必要である。</li> <li>保険料統一については、一自治体の立場でのみ捉えるのではなく、県民が安心して保険制度を利用できるよう、将来を見据えた最善策を選択すべきと考えます。</li> <li>「統一された保険料水準は、被保険者が負担し得る額となるように設定する。」を加えることはできないでしょうか。</li> <li>今後も保健事業を行う中で、保健事業の促進、モチベーションの維持、その市町村ごとの努力に対する評価を。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村間、被保険者間の公平性の確保</li> <li>議会・被保険者への説明</li> <li>社会保険制度のもとでの被保険者の負担のあり方</li> </ul>  |
| ③統一の目標時期（R12年度の統一）<br>賛成20 反対1 その他13 | <ul style="list-style-type: none"> <li>保険料水準統一の議論の順序として、先に統一の時期を設定してそこへ向けて議論を行うのではなく、議論を深め、実際に医療費適正化、事務の統一等を図った先に統一保険料の導入があるものと考えている。</li> <li>市町村によっては保険料の引き上げ幅が非常に大きく、実際の統一時にはさらに保険料が増加することを考えると、この試算結果では令和12年度の完全統一は難しく現実的でないと感じる。</li> <li>先行団体から10年以上の遅れが生じるため、完全統一の早期実施に向けて期間短縮を望む。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>被保険者負担の急激な変化の抑制（激変緩和措置）</li> <li>各市町村の事情に応じた対応</li> <li>医療費適正化インセンティブ</li> <li>保健事業の取組の見える化</li> <li>収納率向上インセンティブ</li> </ul> |
| ④統一に向けた今後の課題                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>財政調整基金の取扱い</li> <li>被保険者に現にその保険料上昇に見合う受益が目に見える形で新たに確保されるわけでもないため、説明は非常に苦慮するものと予想される。</li> <li>暫定措置期間を含めて国保税収納率の維持も課題になっていくと認識しています。</li> <li>被保険者負担の急激な変化とならないよう、統一保険料への移行を見据えた税率改正の検討が課題となる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療提供体制</li> <li>財政調整基金のあり方</li> <li>統一保険料の将来推計</li> </ul>  |
| ⑤県への意見・要望                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>統一保険料の導入にあたっての市町村議会、被保険者等への説明には県も十分なフォローをお願いする。</li> <li>全体的な医療費の適正化を図るという視点で、関連するデータはすべて利用して分析を行い、県全体の取り組み、市町村ごとの取り組みの必要性とその取り組みの成果をデータで見える化するような仕組みを統一までの期間に実現してもらいたい。</li> <li>12年度の保険料水準の完全統一に向けて各市町村が各年度でどこまで保険料を上げるべきなのかを県に示していただきたい。</li> <li>激変緩和措置については、これまで経営努力を行ってきた市町村が負担を被ることがないよう、公平なものとしていただきたい。</li> <li>高医療費である市町村は、保健事業で医療費抑制の取組を今まで以上に努力してほしい。保健事業の成果を数値化し、ある一定のパナリティ（県から首長への指導等）を課す等の仕組みづくりを行っていただきたい。</li> <li>医療費の適正化については市町村の努力を評価する仕組みと、必要な医療が確実に県全体に提供されることについては納得のいく議論をお願いしたい。</li> <li>統一に向けた基金の取扱いと税率改定の必要性については、県においても引き続き、運営委員の研修会で説明をお願いしたい。</li> <li>市町村担当者によっては経験年数も異なり、理解度のレベルに差があるため、県には引き続き、わかりやすい資料や丁寧な説明を行って欲しい。</li> </ul> |   |

# 令和12年度までのスケジュール（案）



# P

※経過措置期間や激変緩和措置については統一を目指した議論を行う中で検討

- 国民健康保険制度は、被用者保険と比較すると、「年齢構成が高く、医療費水準が高い」、「所得水準が低い」、「保険料負担率が高い」など構造的な課題を抱えており、特に、全国に先駆けて少子高齢化が進む高知県では、全国と比較して保険料負担が高いなど大変厳しい状況にある。
- 人口減少高齢化により、今後さらに保険者が小規模化していくことや被保険者一人当たりの保険給付費が年々増加していることを踏まえると、県内国保の持続可能性の確保のために、**将来的に県内国保の保険料水準の統一が必要**。
- 現在、市町村毎に異なる保険料について、県全体で負担を均てん化するとともに、被保険者間の公平性の確保のため、**県内のどの市町村に住んでいても、同じ所得、同じ世帯構成であれば同じ保険料**になることを目指す。
- **令和12年度の統一を目指し、令和5年度末までに統一のための基準を策定する**。また、**6年間の経過措置期間**を設ける。
- 統一を行う前提条件として、経過措置期間中に、**全市町村が歩調を合わせ、それぞれ国保財政運営の適正化に努めることとする**。
- また、県内国保の持続可能性を高めるため、**将来の県内国保の保険給付費の増加を可能な限り抑制し、統一後の保険料水準の上昇を抑制するための努力を県全体で行うこととする**。

## 被保険者間の公平性の確保

### ● 統一保険料の導入

「**県内のどの市町村に住んでいても、同じ所得、同じ世帯構成であれば同じ保険料**」を目指す

＜統一する項目＞ 保険料率、保険料の減免基準 など

＜統一の時期＞ **令和12年度**

### ● 激変緩和措置の導入

⇒被保険者負担の急激な変化を抑制するため、統一保険料の導入に伴う負担の増加に対して、**激変緩和措置**を講じる。

### ● 財政運営の適正化（赤字繰入の解消）

⇒被保険者負担の急激な変化とならないように配慮しつつ、統一保険料への移行を見据えて**計画的に赤字を解消**



## 県内国保の持続可能性の確保

### ● 保険財政の安定化

⇒ 県全体で支える仕組みとすることで、高額医療が多発しても、**保険料が急激に上昇するリスクが大きく低下**

### ● 医療費適正化

⇒ 各市町村ごとの保険料負担の均てん化だけでは、持続可能性の確保は不十分であるため、**将来の国保の保険給付費の増加を抑制し、被保険者の負担軽減のための努力を県全体で行う**。  
⇒ 県全体で取り組むことを担保するための**新たな枠組み**を検討

### ● 事務の統一

⇒ 国保連合会と連携した事務の効率化、広域化等を検討

# 今後の進め方について

- 高知県では今後も、国保の被保険者が急激に減少していく一方で、一人当たりの医療費・保険料負担は上がって行かざるを得ない見通しとなっています。
- 「県内国保の持続可能性」と「被保険者間の公平性」の確保を考えた場合、将来の保険料水準の県内統一は必要と考えます。
- 保険料負担の均てん化を進めつつ、将来の医療費が少しでも上がらないような努力を、県全体で行う仕組みづくりが今後重要となります。
- 県は今年度、市町村に統一の理念や必要性についての説明を行い、将来の統一に全ての市町村が異存がないことを確認した上で、段階的に議論を進めてまいりました。  
引き続き、丁寧な説明を行いながら、統一に向けた課題について調整を行ってまいります。